アスベスト、土壌汚染、ダイオキシン類…環境リスクに関するニュースを定期的にお届けします!

環境リスクPress

2016年6月発行/VOL.7



アスベスト関連ニュース

2016年6月8日

石綿入り277袋不法投棄

京都・伏見の霊園駐車場

京都市は8日、隨心院(山科区)が管理する伏見区醍醐北端山の霊園駐車場に、アスベスト(石綿)の入った袋277袋(2・67トン)が不法投棄されていた、と発表した。すでに市が撤去したが、山科署が廃棄物処理法違反の疑いで捜査している。

市や隨心院によると、隨心院の男性職員が5月30日午前11時ごろに袋を見つけ、山科署に通報。市も31日に現場を確認し、シートをかぶせるなど飛散防止を行った上で民間検査機関に分析を依頼した。7日にアスベストが16%程度含まれていることが判明し、8日に撤去した。

霊園駐車場は隨心院から東に約1キロにあり、当時は24時間出入りが可能 だった。職員が納骨で28日に訪れた際には異常はなかったという。

※(参照:京都新聞)

最新トピックス

外国人技能実習生受入れ事業協同組合 「アジア建設技能促進協同組合」

アジア建設技能促進協同組合とは、発展途上国の青壮年達を一定期間、外国人技能実習生として受入れ、産業上の技術、技能、日本文化の習得をサポートする機関です。(対象国はベトナム)

アスベックスはこの機関の1組合員として現在外国人実習生の積極的な受け 入れをスタートしました。

人口減が続く今、このような力をいち早く取り入れるとともに、アジアへの展開も検討していく企業様も多いと思います。

ご興味があれば是非一度お問い合わせください!

土壌汚染対策の基礎知識

自然由来の土壌汚染?

自然由来の汚染とは、自然の岩石や堆積物中に砒素、鉛等が含まれることで土壌汚染となったもので事業活動に起因する人為由来と区別されます。もともと自然界に存在し、人の体内にも微量に存在する物質であるため、自然由来の汚染は、土壌汚染対策法の対象外とされていましたが、2010年4月に土壌汚染対策法が改正され、自然由来の土壌汚染も法の対象になりました。

【自然由来の判断】

土地の履歴、周辺の同様な事例、周辺の地質的な状況、海域との関係 等の状況

を総合的に勘案することに加え

- ・土壌溶出量が土壌溶出量基準の10倍を超えないこと
- ・土壌含有量が概ね下の表に示す濃度の範囲内にあること

を考慮したうえで判断されます。下の表の上限値を越える場合は、自然的原因ではなく、人為的原因として扱われます。

砒素	鉛	ふっ素	ほう素	水銀
39mg/kg	140mg/kg	700mg/kg	100mg/kg	1.4mg/kg
カドミウム	セレン	六価クロム		

カドミウム	セレン	六価クロム
1.4mg/kg	2.0mg/kg	_

毎月セミナー実施中!

URL: http://aspac.or.jp/





